

平成27年度 石川県教育委員会・中能登町教育委員会指定
いしかわ道徳教育推進事業 道徳教育推進校
「人と地域を生かした道徳教育講座」

【研究主題】

自分の思いや考えを伝え合い深め合う子の育成

～家庭・地域と連携した道徳教育を通して～



保護者からの手紙



グループでの考えの共有

平成27年10月15日（木）

中能登町立鳥屋小学校

児童の実態 (Research)

児童アンケートより (肯定的評価) 6月

(対人関係について)

- あなたは、人の気持ちを考えていますか。・・・ 89. 3%
- あなたは、ありがとうやごめんなさいが言えますか。・・・ 87. 5%

(基本的な生活習慣・規範意識について)

- あなたは、明るく元気な声であいさつすることができますか。・・・ 79. 8%
- あなたは、宿題や勉強道具を忘れないよう気をつけていますか。・・・ 84. 7%
- あなたは、学校生活のきまりを守ろうとしていますか。・・・ 88. 6%

(学習について)

- あなたは、授業中に進んで意見や考えを発表しようとしていますか。・・・ 74. 3%

【課題】

- 大部分の児童が良好な対人関係を築けるが、思いやりや協力する態度に個人差が大きい。
- 挨拶ができない児童が多い。
- 自分の考えや意見を積極的に表現することが苦手な児童が多い。

研究構想図 (Plan)

学校道徳教育目標

児童の道徳的な判断力, 心情, 意欲の向上

自分の思いや考えを伝え合い深め合う子の育成

～家庭・地域と連携した道徳教育を通して～

重点Ⅰ

家庭・地域との連携

- 地域の教育力 (人材・教材) の活用
- 家庭・地域への情報発信

重点Ⅱ

ねらいに迫る発問の工夫

- 道徳的価値の自覚を深める発問の検討

重点Ⅲ

ユニバーサルデザインの視点を 取り入れた授業づくり

- 焦点化, 視覚化, 共有化を取り入れ, 道徳的な判断力, 心情, 意欲を高める授業づくり

学びを支える基盤づくり

- 伝え合う力の育成
- 環境整備 (道徳コーナー, 教材の共有)
- 全校でのあたたかい人間関係づくり (あいさつ運動, とりやっ子タイム, なかよしプールなど)

重点1：家庭・地域との連携（Do）

地域の教育力（人材・教材）の活用

道徳授業における地域の人材・保護者の活用

ゲストティーチャー



ビデオレター



「ふるさとをはぐくむ どうとくいしかわ」の活用



保護者からの手紙



「ふるさとをはぐくむ
どうとくいしかわ」の映像
資料集を活用する。

地域の方々との交流

2年生「町探検」



様々な活動で
地域の方と交流
する。



3年生「大豆の種まき」

6年生「エコバックづくり」



5年生「米づくり体験」

重点II：ねらいに迫る発問の工夫 (Do)

道徳的価値の自覚を深める発問

1年生「デカとぼく」

【中心発問】

《坂牧さんはどんなことを考えてデカのお世話をしていたのかな》

➡ 坂牧さんの心情の変化を問う。



【振り返り発問】

《みんなは、これからどんなことを考えて動物や植物のお世話をしたいですか》

3年生「うれしくおもえた日から」

【中心発問】

《へとへとなるまで頑張った時のしょう君はどんな気持ちだったかな》

➡ 主人公が「自分のいい所に気付く」場面を問う。



【振り返り発問】

《お家の人からの手紙を読んで、どう思ったかな》

5年生「ぼくの愛する千枚田」

【中心発問】

《ぼくはなぜ千枚田を守っていきたく思ったのだろうか》

➡ 「ぼく」の千枚田への強い思いを問う。



【振り返り発問】

《みんなは、ふるさとに昔から伝わるものを守るためにどんなことをしていこうと思いますか》

6年生「思いやりの心で」

【中心発問】

《わたしは茶道教室でどんなことを学んだのかな》

➡ 茶道教室で「わたし」が学んだとことを問う。



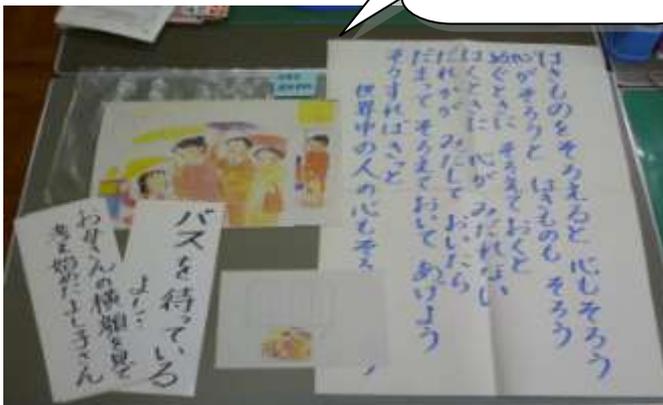
【振り返り発問】

《どんな場面でどんな形にして相手に思いやりの心を伝えていくかな》

環境整備

教材の共有

全職員で、道徳授業で用いた教材を共有できるようにする。



道徳コーナー

全クラスで道徳コーナーを設置し、これまでの学習の足あとを掲示する。



重点III：ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり (Do)

焦点化

心情の焦点化

主人公の「わたし」に焦点を当て、心の変化を考えさせることで、ねらいに迫る。

(自分のほいでいたスリッパを投げ入れた時、わたしは、どんな気持ちだったかな?)

- ・スリッパが、お間に合わない。
- ・みんな投げ入れているみたいだし、わたしもやってみよう。
- ・ごちゃごちゃになっているのは、よくないと思うけど、急いでいるから仕方がない。

(最後にスリッパが揃えられているのを見た時、わたしは、どう思ったかな?)

- ・同じくみんなの気持ちが、みんなに伝わった。
- ・茶道教室で、学んだことが生かされている。
- ・わたしも、スリッパを揃えて入れるようにしよう。
- ・気持ちいい。

わたしは、茶道教室でどんな心を学んだのかな?

- ・相手を思いやる心。
- ・相手が気持ちいいと思うことを考えて行動すること。
- ・はじめて出会う人にも精いっぱい真心をこめていくこと。

考える場面の焦点化

ある場面に焦点を当て、考えさせることで、その場面の気持ちを考えやすくする。



共有化

考えの交流の工夫

友だちの考えを聞いた後、自分の考えを書き込む。

ペア

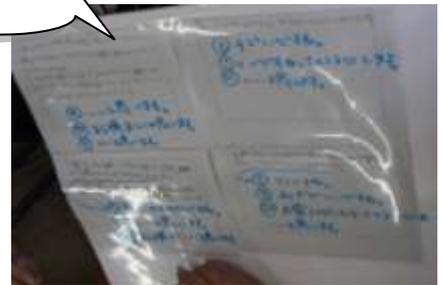


ペアでの話し合いでは、お互いに自分の考えを語り合い、感想を言い合う。

グループ



グループでの話し合いでは、より多様な考えに触れるために、交流の仕方を工夫する。



一斉

他のグループの話し合いの成果を見回りながら交流する。

話し合い活動の形態を工夫することで、より多くの友だちの考えを聞く場を設定し、より多様な考えに触れ自分との違いや新たな気付きを語るようにする。



視覚化

思考の視覚化

ネームカード

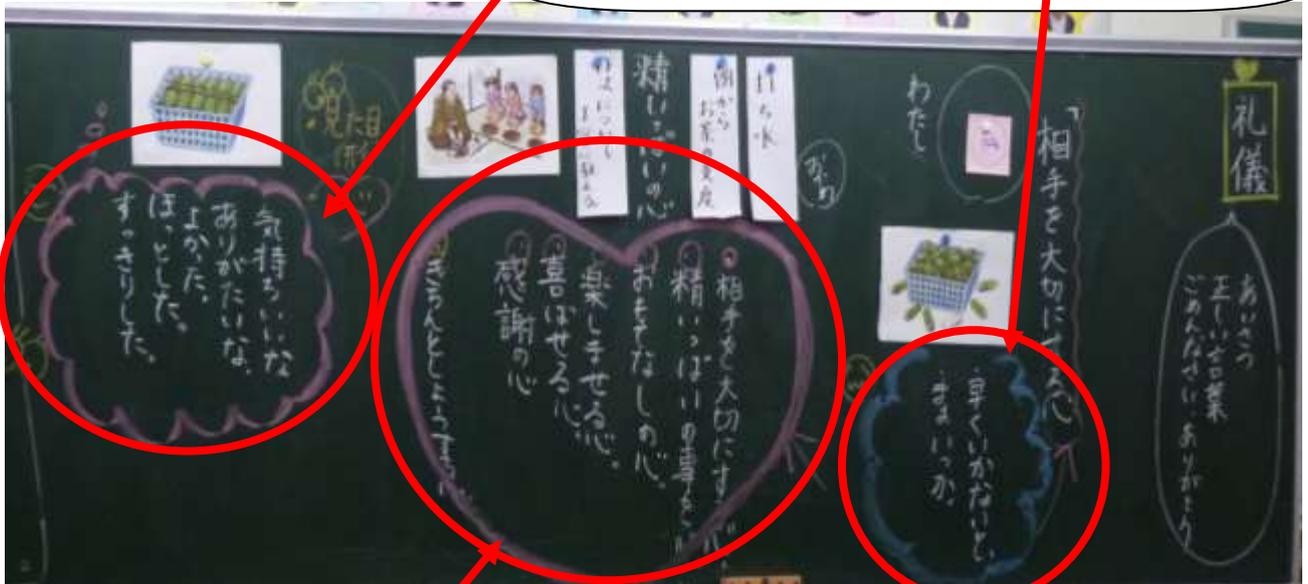


表情絵



顔の表情で心情を表す。

構造的な板書



気持ちの対比を視覚的に分かりやすくするために【-】の気持ちは青線，【+】の気持ちは赤線で囲む。

中心発問での意見は，【ハート】で囲む。

映像資料の活用



児童の興味関心を高めるとともに、資料への方向付けをする。

キーワード・場面絵・写真の提示



必要最小限のキーワード・場面絵・写真を提示する。

成果と課題 (Check)

児童アンケートより (肯定的評価) 9月

		6月との比較
(対人関係について)		
あなたは、人の気持ちを考えていますか。...	91. 5%	2. 2%UP ↑
あなたは、ありがとうやごめんなさいが言えますか。...	93. 8%	6. 3%UP ↑
(基本的な生活習慣・規範意識について)		
あなたは、明るく元気な声であいさつすることができますか。...	82. 9%	3. 1%UP ↑
あなたは、宿題や勉強道具を忘れないよう気をつけていますか。...	89. 7%	5. 0%UP ↑
あなたは、学校生活のきまりを守ろうとしていますか。...	93. 6%	5. 0%UP ↑
(学習について)		
あなたは、授業中に進んで意見や考えを発言しようとしていますか。...	79. 7%	5. 4%UP ↑

【成果】

≪児童≫

- アンケートの全項目で改善が見られた。
(特に対人関係・規範意識に対して)
- 授業ではキーワード・表情絵をもとに、自分の考え・思いを表出することができる児童が増えた。
- 身近な題材を用いることで、より自分自身の問題として考えることができる児童が増えた。

≪教師≫

- 中心発問を意識した授業設計をすることで、資料分析の考え方が職員間で共通理解できた。
- ゲストティーチャーや保護者からの手紙は、興味関心を高めるには効果的だった。



【課題】

≪児童≫

- 挨拶・発言意欲は6月と比較して改善できたが、依然として数値が低い。特に、発言意欲の数値が低く、発表することに自信が持てない児童が多い。

≪教師≫

- 「中心発問」と「振り返り発問」のつながりが難しく、児童が道徳的価値について自分自身のこととして深められないことがあった。
- 自分の考えを共有化する場面で、一方的に発表するだけでお互いの意見の交流がなく、深め合うことができなかった。



今後に向けて (Action)

- ▶ 児童の発言意欲を高めるために、児童への個別の支援と学級全体の雰囲気作りや発表力の向上に向けた取り組みをしていく。
- ▶ 道徳的価値を深めるための、適切な中心発問・振り返り発問・補助発問をこれまで以上に検討していく。(特に、中心発問から振り返りの進め方の改善)
- ▶ 地域の教育力(ゲストティーチャー等)をさらに効果的に活用するために、「どんなねらい」「どの場面」「どのような内容」で授業の中に取り入れるのかを、授業設計する際、十分に検討していく。
- ▶ 学校からの情報発信の充実と、家庭・地域との連携の方法を検討していく。